

環境経営レポート

2023年版

活動期間 2023年1月～12月



 Sugiyama Media Support Co., Ltd.
杉山メディアサポート株式会社

発行日 / 2024年4月1日

1. ごあいさつ



当社は1948年に創業して以来、数多くのお客様とご取引させて頂いております。環境保全、社会貢献を念頭に地域の発展に尽くすことが当社の使命と強く認識し、静岡県浜松市を中心に企業経営をして参りました。

近年は様々な技術の飛躍的な進歩に伴い、情報のデジタル化やIT化により社会は目まぐるしく変化している一方で、地球環境の変化による自然災害や新型コロナウイルスの流行等で、様々な問題に直面することが多くなりました。それを比例するかのように経済情勢も厳しくなり、企業を取り巻く環境もますます厳しくなっております。

このような状況だからこそ、当社は環境保全を含めてお客様や地域に持続的に貢献をしていきたいと考えております。また、活気ある会社であり続けたいとも思います。

本レポートは、2023年1月から12月の1年間におけるエコアクション21環境経営マネジメントシステム活動を取りまとめたものです。

私どもの活動に対しまして、今後も皆様からの率直なご意見をお待ちしております。

代表取締役 永井 元幸

CONTENTS

1. ごあいさつ	1
2. 組織の概要	2～4
3. 主な設備と取り扱い商品のご案内	5
4. 当社の課題とSDGsの達成に向けた取り組み	6
5. 環境経営方針	7
6. 実施体制と主な役割	8
7. 環境経営目標	9
8. 環境経営計画	10
9. 取組結果とその評価、次年度の取組計画	11～19
10. 環境対策・活動紹介	20～22
11. 緊急事態対応訓練	22
12. 内部・外部コミュニケーション	23
13. 環境関連法規制等の遵守状況	24
14. 内部監査	25
15. 代表者による全体評価と見直し・指示	25
グリーンプリンティング認定制度の紹介	26

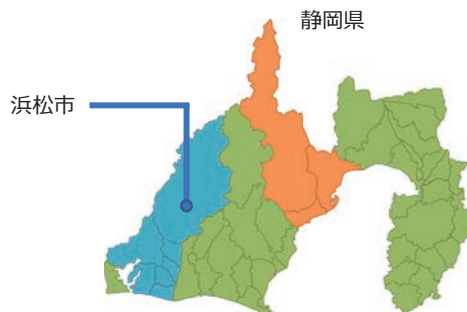
名所 浜松城



浜松まつり凧あげ



大草山からの浜名湖



浜松市の木・鳥・花



名物鰻の蒲焼



マツ



ウグイス



みかん

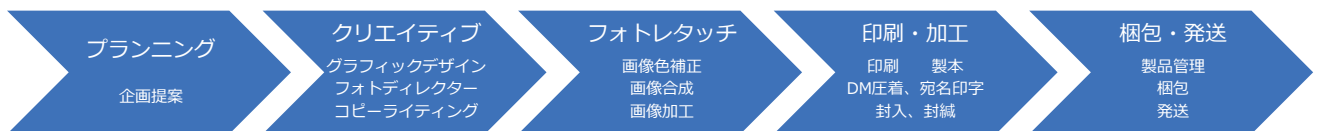
2. 組織の概要

- 事業所名 杉山メディアサポート株式会社
- 代表者名 代表取締役 永井 元幸 2024年4月1日就任
- 環境管理責任者 新都田工場長 清水 亨
- EA21担当者 情報管理課 曾我 晴美
- 設立 1948年4月
- 資本金 5,600万円
- 事業の規模 従業員数： 117名
売上高： 2,160百万円
延べ床面積：8,265㎡
丸塚営業本部 2,452㎡ 新都田工場 5,329㎡ 静岡営業所 52㎡ 東京営業所 432㎡
- 認証・登録 対象事業所：全事業所
- 対象の活動 総合印刷業（企画・立案から印刷、加工、出荷、在庫管理）、
情報サービス加工業（DTP、データベース構築、WEBホームページ制作等）
- 主要ワークフロー 企画提案から、デザイン・印刷・配送までトータルサポート



2004年11月26日

認証登録



トータル品質でお客様の「！」にお答える

ユースフル クオリティ Useful Quality

機能的で有益なオリジナル商品を
高品質でご提案します。

プリンティング クオリティ Printing Quality

印刷テクノロジーをベースに
クロスメディアマーケティングをご提案します。

ファシリティ クオリティ Facility Quality

オフセット輪転印刷をはじめ、
総合高品質印刷設備でご対応します。

セキュリティ クオリティ Security Quality

セキュリティ対策万全の「情報管理」のもと
宛名印字・封入・封緘・投函を安全ワンストップ。

解決力と提案力

Sugiyama Solution スギヤマ・ソリューション

「解決力」「提案力」「品質力」の3つの力でスピード感のあるご提案をします

2. 組織の概要

10. 事業所所在地・連絡先

URL : <https://www.sugiyama-ms.co.jp/>

丸塚営業本部 : 〒435-0046 静岡県浜松市中央区丸塚町196-1

TEL 053-467-6000

FAX 053-467-6006

【E-mail】 soumu@sugi-p.co.jp (代表/総務部)



名倉営業部長

浜松市内をはじめ、西は愛知県、三重県方面、東は静岡県大井川以西を拠点とし、チラシ、カタログ、DM、販促品等幅広い営業活動を展開しています。「解決力」「提案力」「品質力」の3つの力でスピード感のあるご提案をします。また、SDGs目標達成に向けた取り組みを積極的に行っています。



新都田工場 : 〒431-2103 静岡県浜松市浜名区新都田一丁目10番2号

TEL 053-484-1171

FAX 053-484-1170



清水新都田工場長

新都田工場は、浜松市都田テクノポリス内に1996（平成5）年5月に操業を開始しました。オフセット枚葉印刷、オフセットビジネスフォーム印刷を中心とした事業を行っています。緑豊かなこの地域の環境を維持するため、環境に配慮する取り組みを積極的に行っています。



静岡営業所 : 〒420-0913 静岡県静岡市葵区瀬名川三丁目1番33号

TEL 054-267-3001

FAX 054-267-3003

【E-mail】 s-shizuoka@sugi-p.co.jp (代表)



(株) 静岡メディアサポート様2階

池谷営業所長

静岡営業所は1995（平成4）年の開設以来、静岡市内をはじめ、県外にも営業活動を広げています。静岡営業所のコンセプトは、地元企業に密着し、地域の発展に寄与することを目指しています。課員は少人数ですが営業活動と企画・制作を効率よくこなし、お客様にご満足いただける製品をお届けします。



東京営業所 : 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町33-8 元代々木サンサンビル2階

TEL 03-5761-6400

FAX 03-5761-6401

【E-mail】 s-tokyo@sugi-p.co.jp (代表)



間中営業所長

東京営業所は、大都市での営業活動を展開するため1996（平成5）年4月に開設しました。営業拠点は、東京都内を中心に、関東地区に広めて活動をしています。いつも笑顔で元気よく、迅速にお客様の要望にお応えすることを心掛けて活動しています。

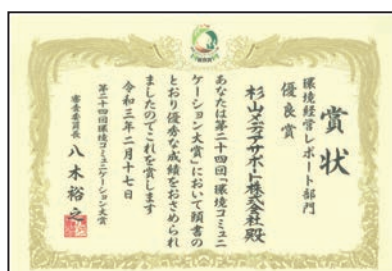


【会社沿革】

◆	1948年	4月	会社創業
◆	1972年	11月	株式会社杉山印刷に改組
◆	1980年	9月	浜松市上新屋町に本社工場新築移転
◆	1990年	5月	浜松市丸塚町に印刷工場完成
◆	1995年	8月	静岡営業所開設
◆	1996年	4月	東京営業所開設
◆		5月	新都田テクノポリスに本社工場移転
◆	1998年	8月	南伊場営業本部開設
◆	2004年	3月	浜松市東区丸塚町にオフリン工場完成
◆		9月	プライバシーマーク認定制度取得
◆		11月	エコアクション21認証取得
◆	2007年	10月	グリーンプリンティング工場認定制度 新都田工場取得
◆	2008年	5月	FSC®森林認証制度 CoC認証取得
◆		10月	杉山メディアサポート株式会社に社名変更
◆	2009年	10月	伊場営業所、営業本部並びに総務・経理課を浜松市東区丸塚町に移転
◆	2010年	1月	メディア・ユニバーサルデザイン協会正会員に入会
◆	2013年	9月	全国印刷産業連合会CSR認定制度 ワンスター認定取得
◆	2014年	1月	新都田工場に太陽光パネル設置
◆	2015年	2月	平成26年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー認定制度」 Sランク認定
◆		5月	南伊場営業所（オンデマンド印刷部）を佐鳴台に移転 ODPショッップ開設
◆		9月	全国印刷産業連合会CSR認定制度 ツースター認定取得
◆		12月	日本印刷産業機械工業会 Japan Color標準認証取得
◆	2016年	4月	メディア・ユニバーサルデザインおりがみ「おりがすくん」、食物アレルギーキット「My Allergy」商標登録
◆	2018年	11月	ODPショッップを新都田工場内に移転
◆	2019年	4月	東京営業所目黒区中目黒に移転
◆	2021年	9月	東京営業所渋谷区元代々木町に移転
◆	2021年	11月	完全無処理CTPプレートに切替
◆		11月	浜松市SDGs推進プラットフォーム入会
◆	2024年	4月	代表取締役交代 永井元幸代表取締役就任

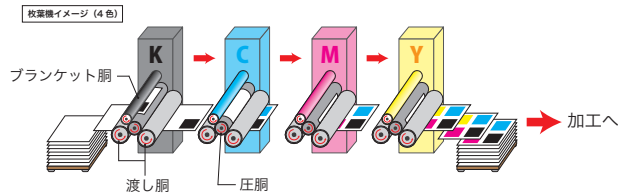
【受賞履歴】

◆	2011年	9月	日本印刷産業連合会 「第10回印刷産業環境優良工場表彰」	日本印刷産業連合会奨励賞	受賞
◆	2013年	3月	「ふじのくにエコチャレンジACTION」	優秀賞	受賞
◆	2014年	9月	日本印刷産業連合会 「第13回印刷産業環境優良工場表彰」	日本印刷産業連合会特別賞	受賞
◆	2015年	1月	第8回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション	経済産業大臣賞、優秀賞	受賞
◆		1月	第8回 静岡県MUDデザインコンテスト	最優秀賞	受賞
◆		2月	平成26年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー認定制度」	特別賞	受賞
◆		8月	日本印刷産業連合会 「第14回印刷産業環境優良工場表彰」	日本印刷産業連合会会長賞	受賞
◆		10月	第9回 静岡県MUDデザインコンテスト 一般部門	優秀賞	受賞
◆		11月	エコアクション21 「認証・登録10年継続記念表彰」		受賞
◆		12月	第9回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 一般部門	佳作	受賞
◆	2016年	8月	日本印刷産業連合会 「第15回印刷産業環境優良工場表彰」	経済産業省商務情報政策局長賞	受賞
◆	2017年	1月	平成28年度「プライバシーマーク®制度貢献事業者表彰」		受賞
◆		2月	第10回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 一般部門	優秀賞	受賞
◆		2月	第10回 静岡県MUDデザインコンテスト 一般部門	優秀賞	受賞
◆	2018年	2月	「ふじのくにエコチャレンジTRY」審査員特別賞		受賞
◆	2020年	2月	第13回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 一般部門	佳作	受賞
◆		3月	令和元年度「浜松市企業のCSR活動表彰」	ローカル活動部門	入賞
◆	2021年	2月	第14回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 一般部門	佳作	受賞
◆		2月	第24回 環境コミュニケーション大賞 環境経営レポート部門	優良賞	受賞
◆	2021年	3月	令和2年度「浜松市企業のCSR活動表彰」	特別賞	受賞
◆	2022年	1月	第15回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 一般部門	経済産業省大臣賞	受賞

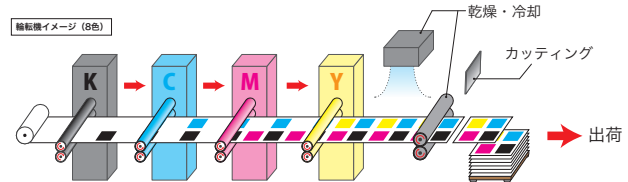


当社の環境経営レポート2019年版が、第24回環境コミュニケーション大賞 環境経営レポート部門にて、応募数114点の中から「優良賞（審査委員長賞）」を受賞いたしました。

3. 主な設備と取扱い商品のご案内



枚葉印刷機は、1枚ずつの紙に印刷するため、紙のサイズや厚みが変わっても印刷することができ、チラシや冊子等を印刷するのに適した印刷機です。当社新都田工場は枚葉印刷機を5台、その内1台は表裏を同時に印刷することができるものを設置しています。



輪転印刷機は、ロール紙から連続して印刷され、印刷後すぐに大型乾燥機でインキを乾かし冷却装置で温度を下げ、カットされ、折り加工や梱包処理もできます。枚葉印刷機に比べ生産性が高く大部数のチラシや雑誌・書籍の印刷などに向いています。当社丸塚営業本部オフリン工場には、輪転印刷機を2台設置しています。

【オフラインメディア（印刷媒体）】

質の高いクリエイティブワークと印刷技術で、プロモーションを応援します。

当社の主な取り扱い商品

カタログ、リーフレット、チラシ、マニュアル、取扱説明書、帳票類、社内報、CSR報告書、カレンダー、ダイレクトメールなどを時代の一步先行くアイデアとソリューションで、お客さまのあらゆるニーズに全力で応えています。



カタログ



リーフレット



チラシ

【オンラインメディア（Web）】

多彩なクロスメディアを使い分け、狙ったユーザーに情報を分かり易く伝えます。

当社は紙媒体などのオフラインメディアから、情報のスピードと鮮度が求められる今の時代に、お客さまが伝えたい情報をより早く、より的確に、より多くの人に伝えるためのお手伝いとしてオンラインメディアにも力を入れています。オンラインメディアと一口に言っても、Webサイト（ホームページ）を基本として、リスティング広告やディスプレイ広告、ソーシャルメディア広告など多岐にわたります。それぞれの特性や費用対効果を示し、目的に応じた適切なプランをご提案します。



Webサイト制作



インターネット広告



クロスメディア

【販売グッズ・ノベルティ】



【個人情報保護】

当社はプライバシーマーク認定企業です。

プライバシーマーク（Pマーク）とは、個人情報の取り扱いが適切であると認められた事業者与えられる称号で、当社は日本工業規格JISQ15001:2017「個人情報保護に関する個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」および個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守していると認められて2004年9月に認定取得しました。これまでもこれからも、皆様からお預かりした個人情報は万全なセキュリティ体制のもとで厳重に取り扱っていきます。



4. 当社の課題とSDGsの達成に向けた取り組み

環境経営を実行していく上での課題とそれに関連するSDGsの目標

環境活動

- ・省エネ、節電
- ・地域環境保全
- ・水使用削減
- ・排水管理
- ・化学物質使用量削減と管理
- ・生物多様性保全
- ・廃棄物削減
- ・資源管理
- ・地域貢献



経済活動

- ・品質向上
- ・生産コスト削減
- ・受注拡大
- ・生産性向上
- ・環境に配慮した資材の調達と製品の提供
- ・情報セキュリティと個人情報保護の強化



社員の心身の健康・働きがい

- ・化学物質管理
- ・健康管理
- ・快適な職場環境
- ・雇用環境整備
- ・雇用及び職業による差別撤廃
- ・ハラスメント禁止
- ・人材育成
- ・働き方改革
- ・育児、介護との両立
- ・働きがい、満足度向上



SDGsの達成に向けた取り組み

環境活動

次世代が住み続けられる街を残し、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、エネルギー起因の排出量を減らします。

具体的な取り組み

経年使用機器の省エネ化を進めます。

工程内作業を見直して作業効率を上げ、使用するエネルギー量を減らします。

自主的な環境測定の実施と法定点検を実施します。

経済活動

環境に配慮した製品づくりと、オンラインメディアによるサービスをご提供します。

具体的な取り組み

FSC®/CoC認証とグリーンプリンティンク工場認定を継続取得して、印刷製品に「環境ロゴマーク」を付けられる環境に負荷を与えない資材を使用します。

コーポレートサイトからECサイトまでお客様のニーズに合わせて幅広く制作します。

社会活動

地域の皆様に支えられてきた恩返しとして、今後の地域の発展に貢献します。

社員の心身の健康と働きがいを感じる職場環境をつくります。

具体的な取り組み

インターンシップの受入や、MUD（メディア・ユニバーサルデザイン）普及活動として小中学校に出前講座を行います。

地域の清掃活動と交通安全立哨活動を行います。

差別、ハラスメントにおける社内相談窓口を設置します。

5. 環境経営方針

当社は、環境経営方針をここに定め、誓約します。当社の企業理念や経営における課題のチャンスを踏まえて定めた基本方針、行動指針などを従業員に周知するとともに、社会に知ってもらうために公表いたします。

環境経営方針

基本方針

杉山メディアサポート株式会社は、全てのステークホルダーの皆さまとの関係を重視し、環境保全、社会貢献に励み、地域の発展に尽くすことが当社の使命と強く認識し、企業経営を推進してまいります。

行動指針

地球温暖化の防止・循環型社会の構築・生物多様性の保全など、持続可能な社会の実現に向けての環境問題に対する活動を印刷業という本業を通して、限りある資源の有効活用、廃棄物の削減及び環境汚染の防止などの環境活動を自主的・積極的に取組めます。

健全な職場環境を維持し、よりよい商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが重要だと考え、ここに「環境経営方針」を定め、従業員一丸となり継続的に環境経営活動に取り組んでまいります。



全従業員による活動

環境委員会を中心とする体制を構築し、各自の役割と責任を定め全従業員による活動とします。



目標の設定と継続的な取組み

経営における課題とチャンスを踏まえ、環境経営目標と環境経営計画を定め、環境経営の継続的改善を図ります。



環境配慮型製品のサービス推進

環境に配慮した資材を使用しての製品づくりを顧客に提案・推進し、顧客の環境保全活動の支援に努めます。
FSC®認証製品を推進し、顧客の受注拡大に努めます。



環境に配慮した企業活動の取組み

環境影響が小さく、顧客に満足いただける安全で品質の高い商品・サービスを『One Stop. Total Support』します。



エネルギーに対する取組み

投入エネルギーを削減し二酸化炭素排出量を削減します。



廃棄物に対する取組み

省資源を重視した製品づくりと、資源の有効活用を促進するためリサイクル活動を推進し、廃棄物排出量の削減に努めます。



環境関連法規制に対する取組み

事業活動にかかる環境関連の法規制を遵守し、全てのステークホルダーとの信頼関係を維持します。



有害物質に対する取組み

使用する有機溶剤等は環境負荷と健康障害の少ない物を選択し、使用量の削減と適正管理に努めます。



従業員による環境への取組み

全従業員に対して環境教育訓練等を実施し、環境に対する意識を向上させ行動させます。地域活動や社会貢献活動に積極的に取組めます。



環境活動に関する情報の提供

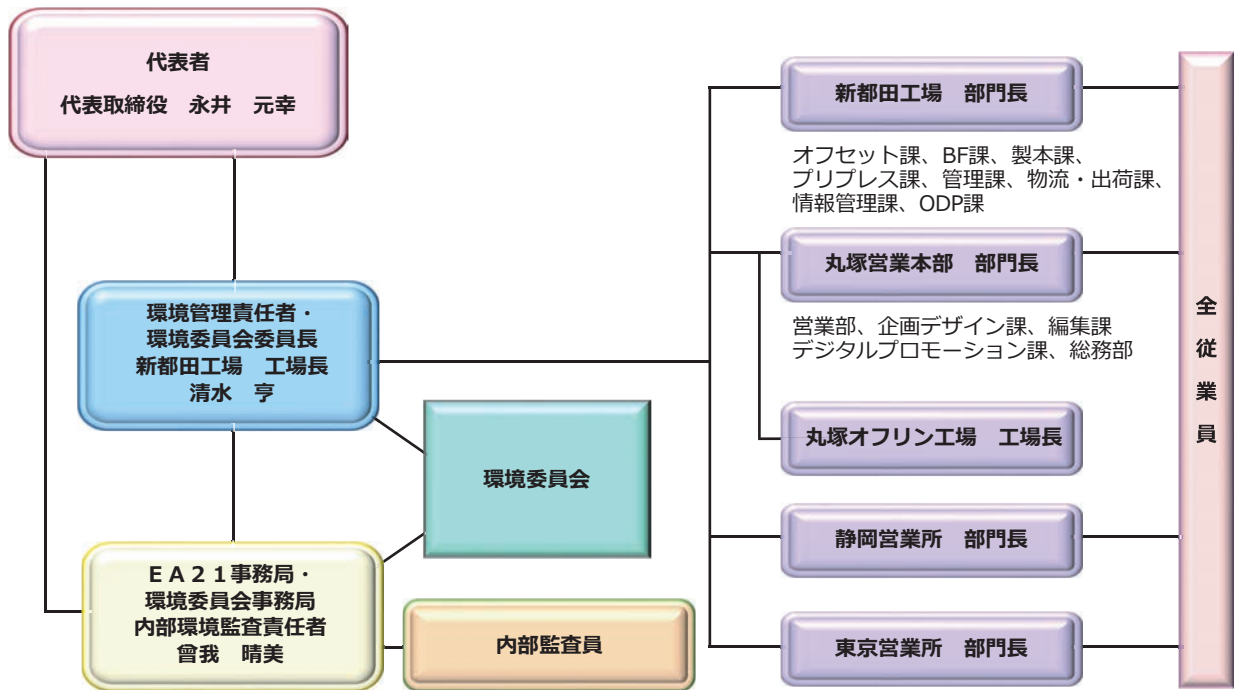
全従業員に対し環境経営方針を周知徹底するほか、ホームページ等を通じて当社の環境への取組みを地域社会に情報提供します。

2003年9月1日 制定
2024年4月1日 改定

杉山メディアサポート株式会社 代表取締役 永井 元幸

6. 実施体制と主な役割

エコアクション21を運用、維持し、効果的で必要十分な環境経営を実践するため、代表者をトップとする全従業員が参加した実施体制を構築し、併せて代表者や各部門の責任者及び担当者などの役割、責任及び権限を次の通り定めています。



役割	責任及び権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 内部環境監査責任者の任命 4. 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者の準備 5. 環境経営システムの評価と見直しの実施 6. 環境経営レポート公開の承認
環境管理責任者	1. 環境経営システムの構築、実施、管理 2. 環境部門長と取組項目責任者の任命 3. 環境経営目標と計画、教育訓練の承認 4. 環境関連法規等の承認 5. 環境委員会責任者
E A 21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 2. 環境経営目標と計画、教育訓練の策定 3. 環境関連法規等の更新 4. 内部監査員の決定 5. 環境関連内外コミュニケーションの窓口 6. 環境経営レポートの作成
部門責任者	1. 環境経営方針の周知 2. 環境経営目標の実施及び達成状況の報告 3. 問題点の発見と是正及び予防処置の実施
全従業員	1. 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 2. 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

毎月開催している安全衛生委員会の場を借りて実施している環境委員会では、E A 2 1事務局より「環境経営システム」運営における問題点や環境負荷物質使用量、環境関連法改正、環境問題などの報告と工場内での対策等を協議しています。協議の内容は議事録にまとめ、問題点が発生した場合は、「問題点是正/予防処置票」に沿って迅速な是正処置（再発防止）に努めています。



7. 環境経営目標

当社は、顧客からの発注に従って製品を生産する受注生産のため、環境経営目標の基準年はスライド方式を採用しています。
また、使用する二酸化炭素排出係数が経年により誤差が大きくなったため、本年の目標値設定より変更しました。

環境への影響		環境経営目標項目	※指標	単位	2022年度実績	2023年度目標		中長期目標 基準年比削減目標		
					基準年	基準年比削減目標	目標値	2024年	2025年	2026年
生活環境・ 地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO ₂	1,041,763.16	1.9%	1,022,367.97	2.0%	2.1%	2.2%
			原単位	kg/2工場 千枚通し数	5.155	1.1%	5.104	1.2%	1.3%	1.4%
		電力使用量削減	総量	kWh	1,590,861	3.0%	1,543,135	3.3%	3.5%	3.8%
		液化石油ガス（LPG） 使用量削減	総量	kg	15,738.21	3.0%	15,266.07	3.2%	3.3%	3.4%
		都市ガス使用量削減	総量	Nm ³	97,322.80	3.0%	94,403.12	3.3%	3.5%	3.8%
		ガソリン使用量削減	総量	L	17,580.85	3.0%	17,053.43	3.3%	3.5%	3.8%
		軽油使用量削減	総量	L	12,726.83	3.0%	12,345.03	3.2%	3.3%	3.4%
生活環境・ 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	1,662	3.0%	1,612	3.3%	3.5%	3.8%
生活環境・ 地球環境への影響	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	688,459	5.0%	654,037	5.4%	5.8%	6.2%
		産業廃棄物総排出量削減 (特別管理産業廃棄物含む)	総量	kg	627,720.00	2.0%	615,165.60	2.5%	3.0%	3.5%
		再資源化率向上	総量	%	98.1	0.1向上	98.2	0.2向上	0.3向上	0.4向上
		一般廃棄物総排出量削減	総量	kg	188.0	3.0%	182.5	3.1%	3.2%	3.3%
生活環境・ 地球環境・ 生命体への影響	大気汚染 人の健康被害	化学物質使用量削減	総量	kg	15,977.14	3.0%	15,497.83	3.1%	3.2%	3.3%
		PRTR法 第一種化学物質量削減	総量	kg	125.00	0.55%	124.31	0.6%	0.7%	0.8%
印刷通し数			総量	オフリン工場 通し数	81,417,184					
			総量	新都田工場 通し数	120,689,343					
			総量	2工場通し数計	202,106,527					

環境への影響		環境経営目標項目	指標	単位	2022年度実績	2023年度目標		中長期目標 基準年比増加目標		
					(基準年)	基準年比 増加目標	目標値	2024年	2025年	2026年
環境経営の推進	製品への 環境配慮・ サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	12,108.02	3.0%	12,471.25	3.5%	4.0%	4.5%
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	40	2件	42	3件	4件	5件
	社会貢献活動	会社周辺清掃活動	総量	回	8		5			
		地域清掃活動参加	総量	回	1		1			
		交通安全街頭立哨活動	総量	回	12		12			
		エコキャップ運動	総量	個	継続実施 排出量0		5,000			

2023年度目標二酸化炭素排出係数・・・

令和3年（2021年）度実績 二酸化炭素排出係数（調整後排出係数）
丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所 / サーラeエナジー：0.309kg-CO₂
新都田工場駐車場 / 中部電力：0.382kg-CO₂
東京営業所 / 東京電力：0.451kg-CO₂

単位発熱量・・・

ガソリン / 0.0346MJ/L
軽油 / 0.0377MJ/L
液化石油ガス（LPG） / 0.0508MJ/kg
都市ガス / 0.0448MJ/Nm³

2022年度実績二酸化炭素排出係数・・・

平成28年（2016年）度実績 二酸化炭素排出係数（調整後排出係数）
丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所 / サーラeエナジー：0.442kg-CO₂
新都田工場駐車場 / 中部電力：0.480kg-CO₂
東京営業所 / 東京電力：0.474kg-CO₂

二酸化炭素排出量原単位・・・

二酸化炭素排出量÷2工場通し数x1,000枚

8. 環境経営計画

環境への影響		環境経営 目標項目	目標達成手段	対象部門		取組スケジュール					
						1月	2月	3月	4月	5月	6月
						7月	8月	9月	10月	11月	12月
生活環境への影響・地球環境への影響	大気汚染・地球温暖化	電力使用量削減	・環境強化月間ポスター掲示	全事業所	(EA21事務局)						○
			・空調温度の適正管理（冷房27℃、暖房22℃）	新都田工場	製本課	○	○				○
				丸塚営業本部	3階事務所（総務部）	○	○	○		○	○
			・デマンド監視装置によるピークカット	新都田工場	生産管理課					設定変更	○
				丸塚営業本部	総務部	○	○	○			
			・空調機、エアコンのフィルター清掃	新都田工場	オフセット課	○	○				○
				丸塚営業本部	3階事務所（総務部）	○	○	○		○	○
			・トイレ便座の温度設定（夏季/電源OFF、冬季/低温設定）とタイマー化（ON/7:00、OFF/22:00）	新都田工場	2階女子トイレ（BF課）	○	○	○			○
				丸塚営業本部	3階女子トイレ（EA21事務局） 3階女子トイレ（総務部）	○	○	○		○	○
			・作業フロアの集約	新都田工場	ブリプレス課	←整理・整頓→		←移動→			
		・未使用フロア消灯、昼休み消灯	丸塚営業本部	3階事務所（総務部）	← 通年 →						
		・外灯タイマーの時節設定	新都田工場	管理課	○		○		○		
		・待機電力の削減 使用する蛍光灯の量を減らす	丸塚営業本部	オフリン課	○	○	○			○	
		使用自動車削減燃料	・走行距離と燃料使用量のチェック	新都田工場	物流・出荷課	○	○	○	○	○	○
				丸塚営業本部	営業部	○	○	○	○	○	○
				静岡営業所	営業部						
				東京営業所	営業部	毎月チェック表提出					
		使用量削減	・空調機のフィルター清掃 ※LPG ・省エネ機器への更新（ガス空調機）※LPG ・印刷乾燥機の始業前点検・整備 ※都市ガス	新都田工場	オフセット課	○	○	○	○	○	○
新都田工場	オフセット課			○	○	○	○	○	○		
丸塚営業本部	オフリン課			← 通年 →							
へ地球環境への影響	へ生活環境への影響	枯渇・水質汚濁・資源	・環境強化月間ポスター掲示	全社	EA21事務局						○
			・雨水を利用した散水	新都田工場	管理課	○	○	○		○	○
地球生活環境への影響・	廃棄物排出・資源の枯渇	紙使用削減	・PDF化と集約印刷機能の活用	新都田工場	生産管理課	← 通年 →					
		活クリ動ルサイ	・プラスチック製クリアホルダーの回収	新都田工場	情報管理課	← 通年 →					
			・トイレトーパー芯分別廃棄	新都田工場	EA21事務局	← 通年 →					
		率減排産業上資源の棄化削物	・印刷準備紙は使用済み準備紙を再利用	新都田工場	オフセット課	← 通年 →					
			・コピー、出力紙は裏紙を再利用	新都田工場	営業部	← 通年 →					
		・廃棄物の分別指導	新都田工場	EA21事務局			○	○			
一般廃棄物排出量削減	・出力前にプレビューでデータ確認	東京営業所		← 通年 →							
生命体への影響	人の健康被害・害	削減化学物質	・洗浄剤、H液等化学物質の代替品検討	新都田工場	オフセット課	← 通年 →					
			・毎月の仕入量を固定して使用量を定める	丸塚営業本部	オフリン課	← 通年 →					
			・化学物質リスクアセスメント実施	丸塚営業本部 新都田工場	安全衛生委員会	← リスク見積、軽減措置 →		←洗い出し→			
			・小分け容器のラベル表記	丸塚営業本部 新都田工場	安全衛生委員会			○	○	○	
環境配慮の製品への配慮	のサ提供ス	受増製認F注加造証S拡・量製C大品	・イベント参加による製品のPR	丸塚営業本部	営業部	○製作	○参加				○企画

9. 取組結果とその評価・次年度の取組計画

エコアクション21の各種取組事項について、2023年にどのような内容を実施したのか、その結果はどうであったか、また、次年度はそれらの取り組みをどのような方向性に導いて行くのか等について記載します。

目標値評価基準

目標達成率が100%以上：達成

目標達成率が95%以上100%未満：ほぼ達成

目標達成率が95%未満：未達成

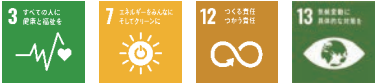
取組評価基準

◎よくできた

●できた

×不十分・できなかった

1) 二酸化炭素排出量削減



2023年目標値		2023年実績		目標値評価	
1,022,367.97 kg-CO ₂		783,969.65 kg-CO ₂		130.4%	達成
原単位	5.104	原単位	4.217	121.0%	達成

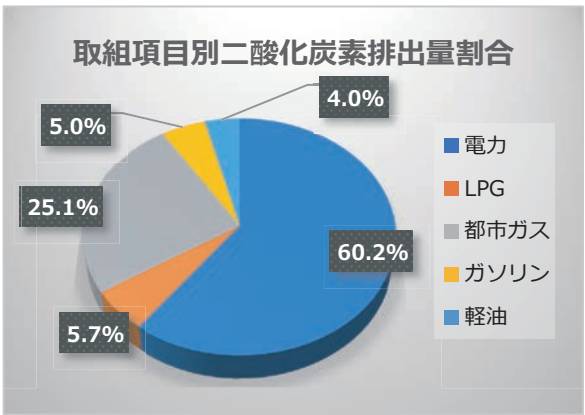
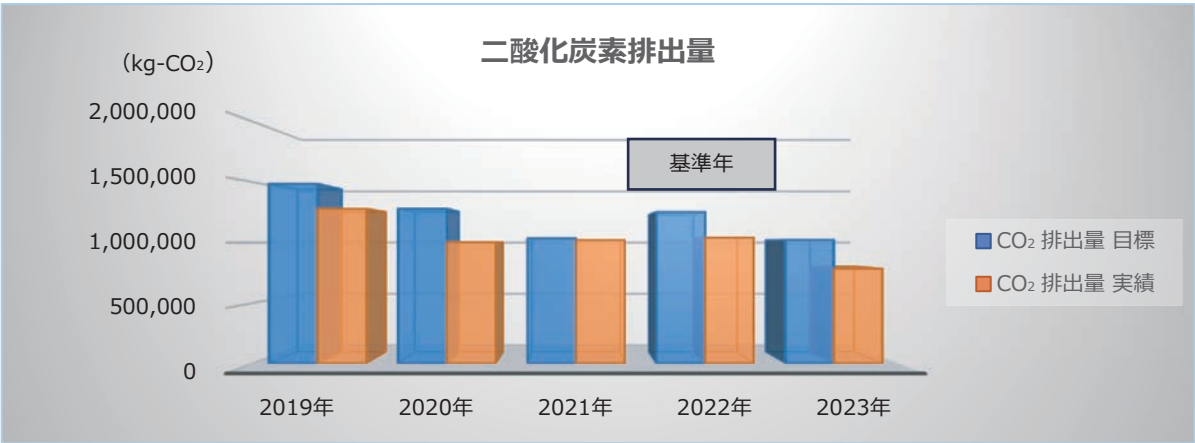
二酸化炭素排出係数・・・2019年度から2022年度まで使用 ⇒ 2023年度から使用

二酸化炭素排出係数（調整後排出係数）：平成28年（2016年）度実績 ⇒ 令和3年（2021年）度実績

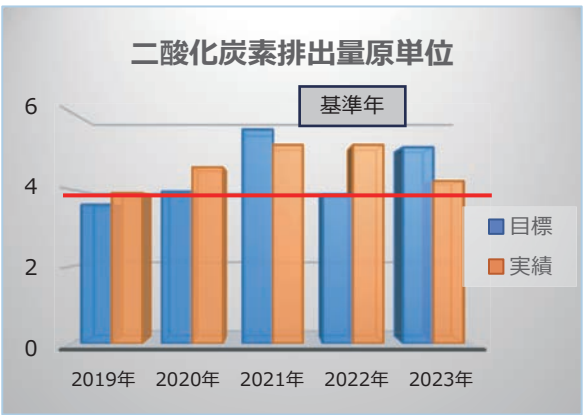
丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所 / サラエエナジー：0.442kg-CO₂ ⇒ 0.309kg-CO₂

新都田工場駐車場 / 中部電力：0.480kg-CO₂ ⇒ 0.382kg-CO₂

東京営業所 / 東京電力：0.474kg-CO₂ ⇒ 0.451kg-CO₂



取組項目	CO ₂ 排出量	割合
電力	472,187	60.2%
LPG	44,503	5.7%
都市ガス	197,018	25.1%
ガソリン	39,239	5.0%
軽油	31,022	4.0%
	783,970	100.0%



二酸化炭素排出量原単位・・・

二酸化炭素排出量原単位＝

二酸化炭素排出量÷2工場通し数×1000枚

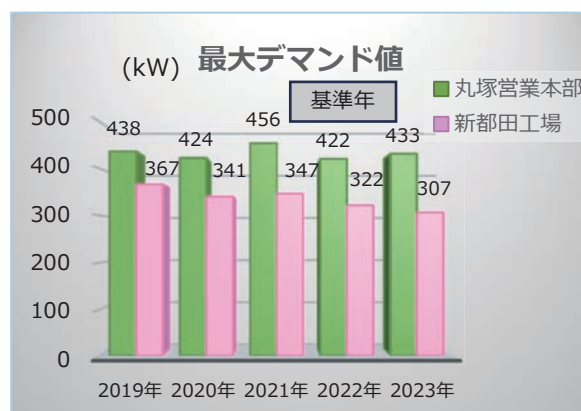
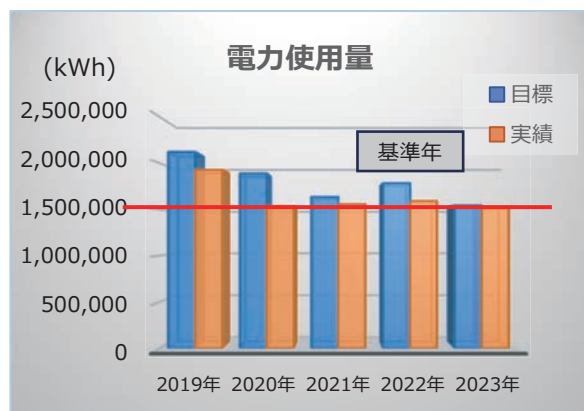
評価：使用する二酸化炭素排出係数が経年により誤差が大きくなったため、本年の目標値設定より変更しました。

二酸化炭素排出量及び原単位において目標を達成することができました。また、原単位においては2年連続で低減できているため、この状態で中長期目標に掲げた毎年1%程度を低減していきたいと思います。

2) 電力使用量削減



2023年目標値		2023年実績		目標値評価	
1,543,135	kWh	1,523,822	kWh	101.3%	達成



目標達成手段	対象部門	取組評価	次年度の取組
環境強化月間ポスター掲示	EA21事務局	◎	継続
空調温度の適正管理（冷房27℃、暖房22℃）	製本課	◎	継続 取組対象部門BF課
	総務部	◎	継続
デマンド監視装置によるピークカット	生産管理課	◎	継続 10月も気温が高いため計画追加
	総務部	◎	
空調機、エアコンのフィルター清掃	オフセット課	×	継続
	総務部	◎	継続
トイレ便座の温度設定（夏季/電源OFF、冬季/低温設定）とタイマー利用	BF課	◎	継続 取組対象部門製本課
	EA21事務局	◎	継続 取組対象部門プリブレス課
	総務部	◎	継続
作業フロアの集約	プリブレス課	●	継続 移動・移設再チャレンジ
未使用フロア消灯、昼休み消灯	総務部	◎	継続 取組対象部門BF課
外灯タイマーの時節設定	生産管理課	●	継続
待機電力の削減 使用する蛍光灯の量を減らす	オフライン課	◎	非継続

◇取組内容

空調設定温度啓発表示とフィルター清掃記録表
フィルター清掃の実施状況は、月末パトロールで確認



デマンド監視装置は丸塚営業本部と新都田工場に設置
30分間のデマンド値が設定値より上昇したら警告音が鳴り、担当部門から各部門に使用制限の協力要請を実施



キャノピースイッチ活用
照度を落とさない程度で人がいない箇所はキャノピースイッチで蛍光灯を消している
また、未使用フロアと昼休みは完全消灯を徹底



節電表示
節電表示でいつでも、誰でも、節電意識を持って行動する
エリアごとのスイッチ位置を表示することで、無駄な電気を使わない



評価：電力使用量は生産実績に大きく左右される環境負荷物質でもっとも使用割合が大きいものです。今年は大掛かりな改修は実施しませんでした。EA21事務局による月末パトロールでは各部門で節電対策を積極的に実施していることが確認でき、従業員一人ひとりの節電意識は高いと評価しました。電気基本料金の基となるデマンド値を抑えることは、経費削減に繋がる重要事項となります。今年度目標値を超えた丸塚営業本部は、監視体制を強化していくことが必要となります。

9. 取組結果とその評価・次年度の取組計画

目標値評価基準

目標達成率が100%以上：達成

目標達成率が95%以上100%未満：ほぼ達成

目標達成率が95%未満：未達成

取組評価基準

◎よくできた

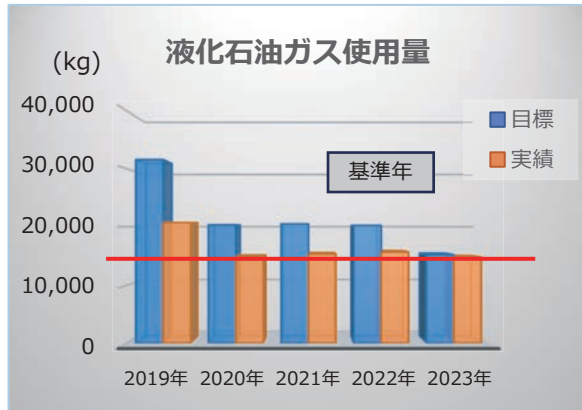
●できた

×不十分・できなかった



3) 液化石油ガス（LPG）使用量削減

2023年目標値	2023年実績	目標値評価	
15,266.07 kg	14,839.83 kg	102.9%	達成



◇取組内容



空調機のフィルターを掃除することで、ガス使用量を抑える



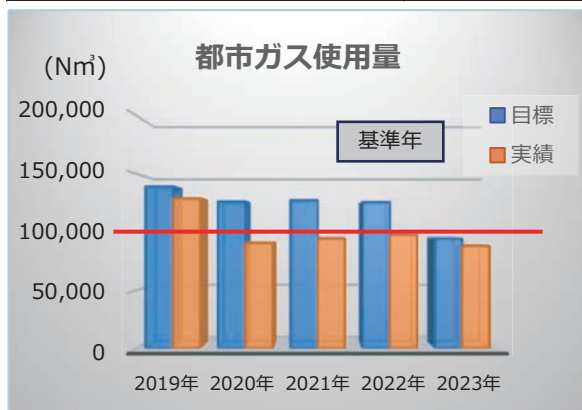
空調機の上限温度を表示

目標達成手段	対象部門	取組評価	次年度の取組
空調機のフィルター清掃	オフセット課	×	継続
省エネ機器への更新	オフセット課	◎	更新対象機器があるため継続

評価：対象部門のオフセット課はフィルター清掃が昨年に引き続き不十分であると判断したため次年度も継続して実施をしていただきます。印刷業務優先ではあるものの空き時間を有効利用してフィルター清掃を実施することを指導しました。浜松市の平均気温は年々高くなっているように思います。これはこの地域に限らず全国的な現象であるため、二酸化炭素排出量削減は重要取組み事項となります。

4) 都市ガス使用量削減

2023年目標値	2023年実績	目標値評価	
94,403.12 Nm ³	88,189.85 Nm ³	107.0%	達成



◇取組内容



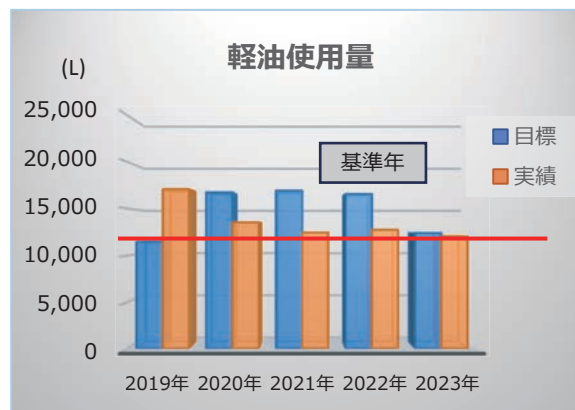
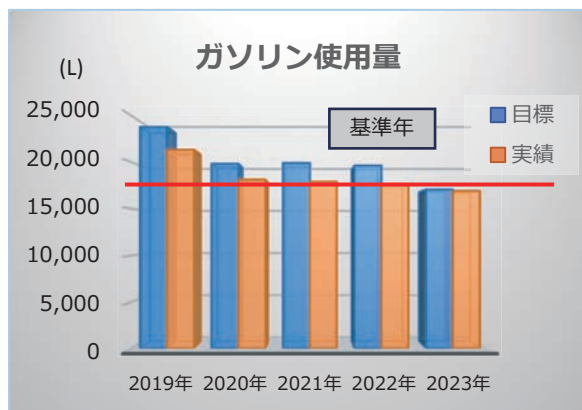
印刷乾燥機の始業前点検・整備

目標達成手段	対象部門	取組評価	次年度の取組
印刷乾燥機の始業前点検・整備	オフリン課	◎	継続

評価：丸塚オフリン工場のオフセット輪転印刷では印刷物の乾燥をするために乾燥機にかけます。この乾燥機は都市ガスを燃焼させて約150～300℃の熱風を生成させます。印刷前の版替え時間や印刷後の洗浄作業中、印刷版待ちの時でもこの乾燥機は稼働しているため作業効率の向上が望まれますが、乾燥機の異常作動を避けて通常使用量に抑えるためにも始業前点検は必要不可欠です。

5) 自動車燃料使用量削減

2023年目標値			2023年実績			目標値評価	
ガソリン	17,053.43	L	ガソリン	16,901.36	L	100.9%	達成
軽油	12,345.03	L	軽油	12,000.97	L	102.9%	達成



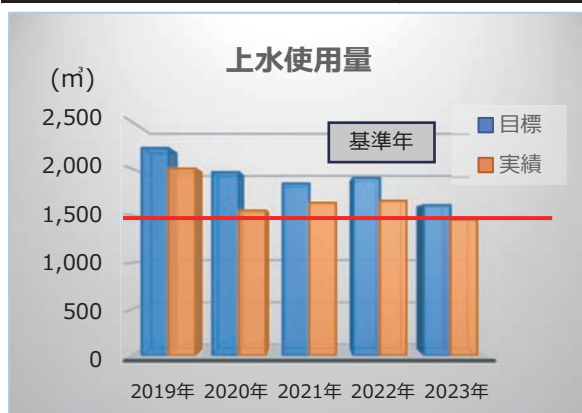
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	目標	実績
ガソリン車燃費 (km/L)	15.60	15.51	15.09	14.82		14.67	15.49
軽油車燃費 (km/L)	8.78	9.01	8.86	8.15		8.07	8.86
目標達成手段			対象部門	取組評価	次年度の取組		
走行距離と燃料使用量のチェック			物流・出荷課	◎	継続		
			営業部	◎	継続		
			静岡営業所	◎	継続		
			東京営業所	◎	継続		

評価：車両使用者による走行距離と給油量を元に燃費を算出することで、燃費向上を意識づけています。また、エコドライブを推進して、地球環境と交通安全への配慮を呼びかけています。その成果として燃費はガソリン車、軽油車共に目標を達成できました。また、近年の原油高によるガソリン価格高騰は給油量に影響しますので、経費削減の意味でも次年度もエコドライブは必須の取り組みとなります。

6) 水使用量削減



2023年目標値		2023年実績		目標値評価	
1,612.2	m ³	1,460	m ³	114.8%	達成



◇取組内容

水使用量削減



雨水を有効活用して
花壇に散水



節水表示

目標達成手段	対象部門	取組評価	次年度の取組
環境強化月間ポスター掲示	EA21事務局	◎	継続
雨水を利用した散水	管理課	●	継続

評価：当社の水使用は生活水が40%、生産工程で使用する水が60%となります。2021年11月より印刷アルミ版を現像機を通さない無処理版に変更した分、印刷湿し水交換回数が増えて水使用量が増えましたが、目標値を達成することができました。生産工程での上水使用量は生産量に左右されるため、次年度も生活水の節水を従業員に呼びかけていきます。

9. 取組結果とその評価・次年度の取組計画

目標値評価基準

目標達成率が100%以上：達成

目標達成率が95%以上100%未満：ほぼ達成

目標達成率が95%未満：未達成

取組評価基準

◎よくできた

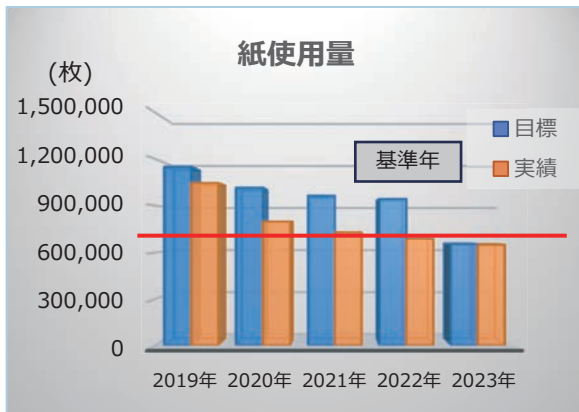
●できた

×不十分・できなかった

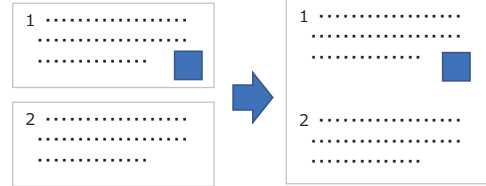
7) コピー/出力紙使用量削減



2023年目標値	2023年実績	目標値評価	
654,037 枚	649,400 枚	100.7%	達成



◇取組内容



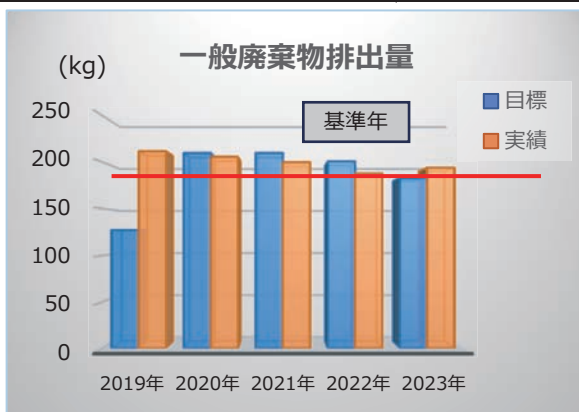
コピー・出力には、複合機の縮小・集約機能を活用

目標達成手段	対象部門	取組評価	次年度の取組
PDF化と集約印刷機能の活用	生産管理課	◎	継続

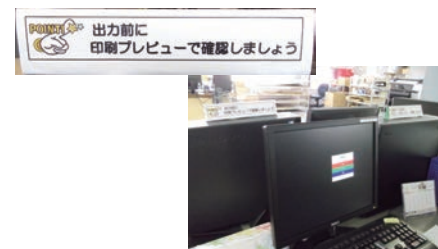
評価：E A 2 1 事務局で毎月発行している「環境活動通信」では、毎月のコピー・出力使用枚数と前年使用枚数を掲載しています。これにより、各部門での使用量が明確化されて削減意識は向上し、出力前にはプレビュー確認、コピーの縮小・両面・集約機能の活用が実施できています。使用済み用紙は廃棄物となるため、廃棄物削減の意味でも継続実施が不可欠です。

8) 一般廃棄物排出量削減

2023年目標値	2023年実績	目標値評価	
182.5 kg	194.0 kg	94.1%	未達成



◇取組内容



出力前にはプレビューで確認表示

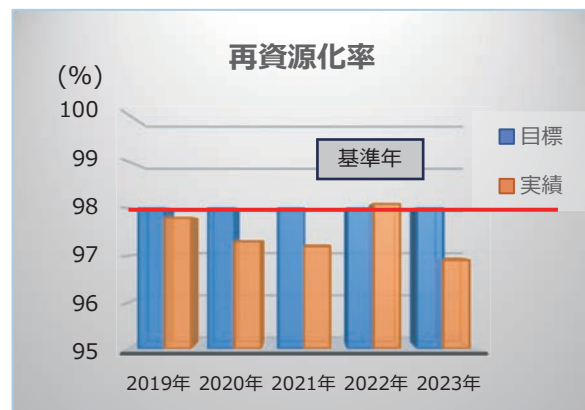
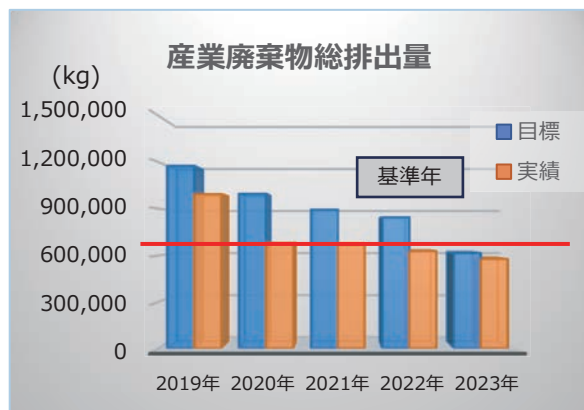
目標達成手段	対象部門	取組評価	次年度の取組
出力前にプレビューでデータ確認	東京営業所	●	継続

評価：一般廃棄物は東京営業所からの紙類の排出物になります。東京都での排出物規制を遵守するため、分別処理を徹底しています。先ず出力の必要性を考えることで出力紙を抑えることにも繋がります。対象部門の反省点としてプリントミスがあったようですので、次年度も慌てず、確認を怠らず取組内容を継続していきます。

9) 産業廃棄物総排出量削減



2023年目標値			2023年実績			目標値評価	
総排出量	615,165.60	kg	総排出量	576,032.83	kg	106.8%	達成
再資源化率	98.2	%	再資源化率	96.9	%	1.3低下	未達成



目標達成手段	対象部門	取組評価	次年度の取組
紙使用量削減 PDF化と集約印刷機能の活用	生産管理課	●	継続
リサイクル活動 プラスチック製クリアホルダー回収	情報管理課	◎	継続
リサイクル活動 トイレトペーパー芯分別廃棄	EA21事務局	◎	継続
再利用 印刷準備紙は使用済み準備紙を再利用	オフセット課	◎	継続
再利用 コピー、出力紙は裏紙利用	営業部	●	継続
廃棄物の分別指導	EA21事務局	×	継続
	生産管理課	-	余剰製品を減らす

評価：新都田工場のブリプレス課では、デジタル化が進み工程内で使わなくなった機械類を廃棄処分したため、産業廃棄物を大量に排出したことが再資源化率の未達成の要因です。次年度は排出物を削減するために印刷・加工予備紙を極力減らすこと、余剰製品を作らないために最低製品数を計算して用紙を発注すること、印刷時に面付を工夫して掛け合わせ印刷をすることを重視して実施していきます。また、事務局として分別指導が実施できなかったため、必ず実施していきます。

◇取組内容

各部門内



廃棄物は先ず部門内で分別を実施
その後廃棄物は倉庫内で品目ごとに保管

廃棄物保管倉庫内

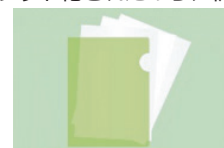


廃棄物倉庫内は品目ごとに専用BOXがあり、何をどこに入れるかが一目でわかる表示

廃棄物排出量の削減と、資源循環社会の実現に向けた取り組みに参加しました。

アスクル株式会社様が実施する「アスクル資源循環プラットフォーム」に参加し、使用済みクリアホルダーの回収リサイクルを実施しました。これは単一素材、同一形状であるクリアホルダーを回収し、再資源化・商品化するプラットフォームです。回収されたクリアホルダーは、アスクル株式会社様のプラットフォームの中で、分別され、再生ペレット化されたのち、新たなプラスチック製品へと生まれ変わります。今年度の排出量は26.5kgでした。

『捨てればゴミ、分ければ資源』を合言葉に、次年度以降もこの活動を実施していきます。



9. 取組結果とその評価・次年度の取組計画

目標値評価基準

目標達成率が100%以上：達成

目標達成率が95%以上100%未満：ほぼ達成

目標達成率が95%未満：未達成

取組評価基準

◎よくできた

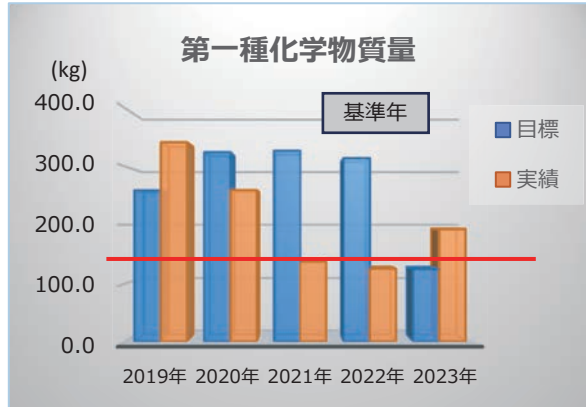
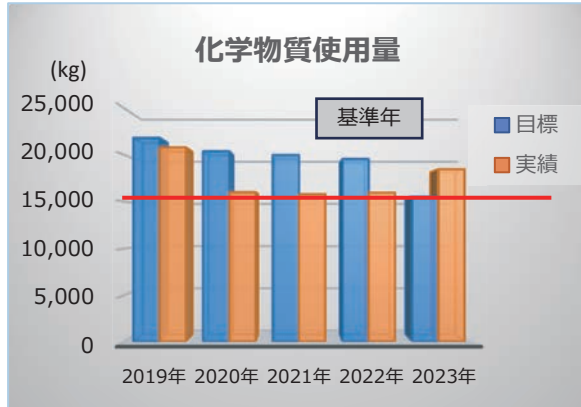
●できた

×不十分・できなかった

10) 化学物質使用量削減



2023年目標値			2023年実績			目標値評価	
使用量	15,497.83	kg	使用量	18,494.09	kg	83.8%	未達成
第一種化学物質量	124.31	kg	第一種化学物質量	192.83	kg	64.5%	未達成



目標達成手段	対象部門	取組評価	次年度の取組
洗浄剤、H液等化学物質の代替品検討	オフセット課	◎	継続
毎月の仕入量を固定して使用量を決める	オフリン課	◎	継続
化学物質リスクアセスメント	安衛委員会	◎	リスク見積、軽減措置、代替促進
小分け容器ラベル表示	安衛委員会	◎	実施済みのため非継続

評価：化学物質排出把握管理促進法の政令改正により、第一種化学物質に該当する物質が増え、これにより使用量も増加してしまいました。化学物質リスクアセスメントを「コントロールバンディング」から「クリエイトシンプル」手法に変更実施した結果を元に、安全衛生委員会では環境や人体に影響を及ぼすリスクが低い代替品の検討を進めました。その結果、オフセット課で2品目、BF課で3品目を代替することができました。次年度はさらに第一種化学物質非含有とリスクレベル低減措置として代替品を促進していきます。

◇取組内容

化学物質の安全管理で使用量削減



絵表示、注意喚起語、安全対策等を表示



洗浄剤を小分け容器に移して使用することで使用量を最低限に抑えることができる
わかりやすく絵表示等も表示



工程内で誤使用をさけるため、小分け容器は洗浄剤ごとにキャップの色を変えて工程内で統一

使用済みウエスは専用BOXに入れて必ずフタをすることを徹底

VOC（揮発性有機化合物）の発生を防ぎ、従業員の健康障害を防ぐとともに、窓開放を禁止して近隣住民への環境汚染を防止



9. 取組結果とその評価・次年度の取組計画

目標値評価基準

目標達成率が100%以上：達成

目標達成率が95%以上100%未満：ほぼ達成

目標達成率が95%未満：未達成

取組評価基準

◎よくできた

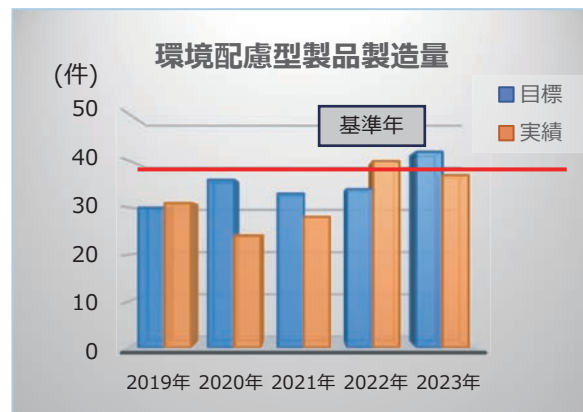
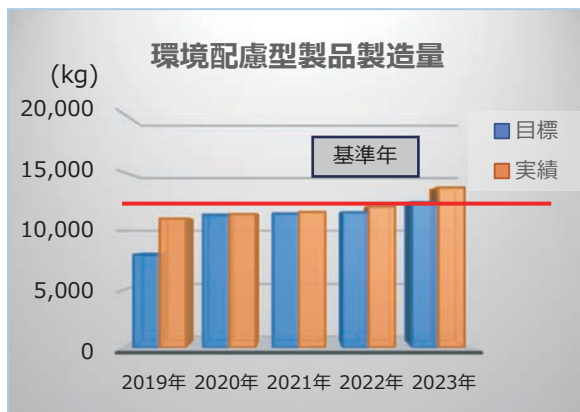
●できた

×不十分・できなかった



1.1) 環境配慮型製品製造量増

2023年目標値			2023年実績			目標値評価	
製造量	12,471.25	kg	製造量	13,734.50	kg	110.1%	達成
FSC製品受注件数	42	件	FSC製品受注件数	37	件	88.1%	未達成



目標達成手段	対象部門	取組評価	次年度の取組
イベント参加による製品のPR	営業部	◎	継続

評価：お客様のSDGsへの取り組みにより年々FSC認証製品への関心が高まっています。当社はこれをチャンスと捉え「ビジネスマッチングフェア」に参加して、異業種企業にFSC認証製品等のPRに力を入れています。その結果、受注件数は目標を達成できませんでしたが、1案件ごとの製造量は増加しました。営業部を中心にこれまで以上にPR活動を強め、受注拡大に繋げていきたいものです。

◇取組内容

「ビジネスマッチングフェアはままつ2023」において、環境配慮型製品を展示
 ・チラシ ・メモ帳 ・紙製うちわ
 ・紙製クリアホルダー



◆環境配慮型製品

印刷資材を環境配慮した用紙やインキ・加工資材を使用して『環境ラベル』を付けた印刷製品を環境配慮型製品といいます。

環境配慮型製品のメリット

- 1) 『環境ラベル』を付けた印刷製品を作るとは、環境保全としてお客様の企業活動を広く一般に伝え、環境への取り組みが高く評価されることに繋がります。
- 2) 消費者の目に触れる印刷物に『環境ラベル』を付けることで、SDGsや2050カーボンニュートラル宣言への取り組みに繋がります。

消費者が消費行動を変える時代

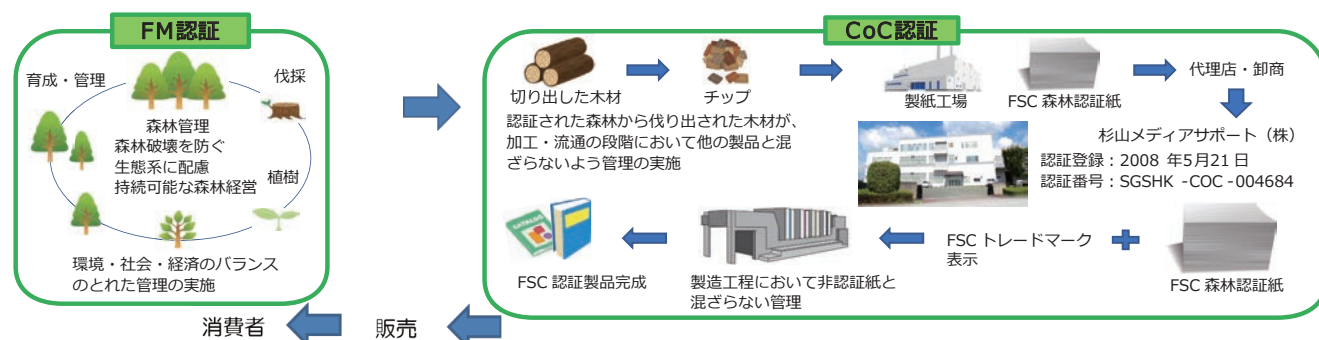
消費者が人権や環境に対して十分に配慮された商品やサービスを選択して買い求めるエシカル（倫理的な）行動に移行しています。エシカル行動は個人で実践できるSDGsの行動です。

当社が印刷物に付けることができる『環境ラベル』の種類

- 1) FSC®トレードマーク
- 2) グリーンプリンティング工場認定マーク
- 3) 植物油インキマーク
- 4) リサイクル適性マーク

環境配慮型製品として集計及び取り組みを実施しているFSCトレードマークについて説明します。

FSC®は木材を生産する世界の森林（FM認証）と、その森林から切り出された木材の流通や加工のプロセスを認証（CoC認証）する国際機関です。この認証は、1. 森林の環境保全に貢献している 2. 地域社会の利益にかなっている 3. 経済的にも継続可能な形で生産されている これら3つの要件を満たした原料で製造された製品に、FSCトレードマークを付けて消費者に届ける仕組みです。



目標値評価基準

目標達成率が100%以上：達成

目標達成率が95%以上100%未満：ほぼ達成

目標達成率が95%未満：未達成

取組評価基準

◎よくできた

●できた

×不十分・できなかった

12) 社会貢献活動



環境経営目標項目	2023年目標		2023年実績	目標値評価
会社周辺清掃活動	5 回		8 回	達成
取組内容	管理部門	取組評価	次年度の取組	
ごみ拾い、草取り	EA21事務局	◎	継続	

◇取組内容

隣接する神社や工場周辺ごみ拾い、歩道の草を取り工場周辺の環境美化に努めています。一斉開催や開催しても少人数・短時間ではありましたが、予定回数を上回ることができました。



環境経営目標項目	2023年目標		2023年実績	目標値評価
地域清掃活動参加	1 回		1 回	達成
取組内容	管理部門	取組評価	次年度の取組	
「天竜川クリーン作戦」清掃活動	総務部	●	継続 参加人数を増やす	

◇取組内容

毎年台風シーズンが終わる11月に開催される「天竜川クリーン作戦」に2015年から継続参加をしています。近年の大雨による増水で流木やごみが多く天竜川に流れ込んでいるため、今後も継続参加をしていきます。



主催：国土交通省浜松河川国道事務所

環境経営目標項目	2023年目標		2023年実績	目標値評価
交通安全街頭立哨活動	12 回		11 回	達成
取組内容	管理部門	取組評価	次年度の取組	
交差点での旗持ち（輪番制）	安衛委員会	◎	継続	

◇取組内容

地域から交通事故を発生させないため、街頭活動を毎月一回朝の通勤ラッシュ時に実施しています。地域からの事故発生はもとより、従業員の通勤時の事故も減少しました。



環境経営目標項目	2023年目標		2023年実績	目標値評価
エコキャップ運動	5,000 個		6,450 個	達成
取組内容	管理部門	取組評価	次年度の取組	
ペットボトルキャップの回収	EA21事務局	◎	継続	

◇取組内容

近年は従業員のエコ意識が高まり、マイボトルを持参する人が増えましたが、自販機を利用する人は自主的に実施をしています。



- ◆2013年活動開始
- ◆累計排出個数 116,527個
- ◆ポリオワクチン 135.5人分
- ◆焼却時二酸化炭素発生抑制量 853.7kg-CO₂

10. 環境対策・活動紹介

1) 地球温暖化防止対策

◆二酸化炭素排出量削減

太陽光発電装置を2014年1月新都田工場の屋上に設置しました。発電量は全量売電ではありますが、太陽光発電はエネルギーを生産する際、二酸化炭素や窒素化合物などの有害物質を発生させないため地球環境保護に貢献している活動となります。

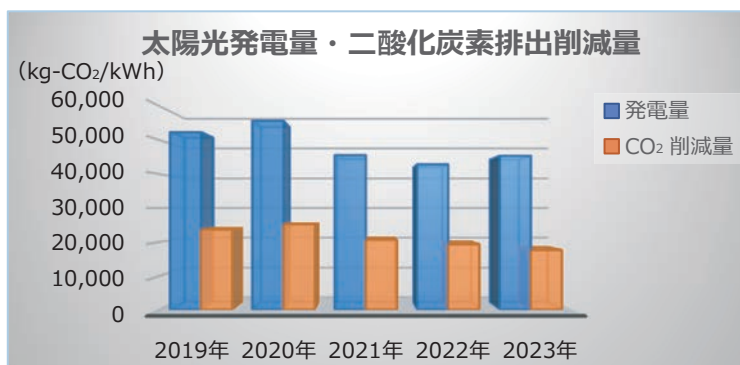
2023年実績/年間発電量：45,413kWh

年間温室効果ガス削減量：17,597.5kg-CO₂/kWh

スギの木一本当たりの年間二酸化炭素吸収量14kg程度※に換算すると約1,257本相当になります。※出典：林野庁



新都田工場 発電設備出力49.5kW 面積1,000㎡



◆省エネ活動宣言

従業員の省エネ意識を高めるため、一人ひとりが「省エネ宣言」をしています。毎年度初めに省エネルギーに繋がる取り組みを決定、年間をとおしての実施とその結果を自己評価しています。2023年の省エネ活動をまとめてみたところ、「こまめな消灯の実施」が最も多い取り組み内容でした。

些細なことでも従業員全員で協力すれば効果は現れます。



省エネ活動宣言書

2) 省資源・再利用

◆材料使用量における省資源

モノづくりの基本である「つくる責任とつかう責任」において、資源の使用量は必要最低限にすることが環境への負荷を小さくし、使えるものは繰り返し使い、限りある資源を大切に使うことが使命であると認識しています。印刷用紙には、製品となる用紙の他、刷り出し損紙と印刷予備紙、加工予備紙が必要となります。この刷り出し損紙を削減するため、一度使用した用紙を繰り返し使用しています。また、当社で使用するインキは植物油インキを99%以上使用しています。植物油とは、再生産可能な大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、パーム油等植物由来の油、及びそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油が対象です。一部印刷機にはインキ自動供給システムを設置して、必要な量だけのインキを自動的に補給し、最後までインキを無駄なく使用しています。



省資源



刷り出し用紙の再利用 インキ自動供給システム



インキ自動供給システムのインキ紙製容器を再利用して廃蛍光管BOXを作っています

◆作業工程における再利用

事業活動に伴い発生する廃棄物排出量を削減するため再使用やリサイクルを推進しますが、資材を選択する段階から再使用可能なもの（古紙リサイクル適性）や処理処分の容易性を図る必要があります。印刷部門で使用するウエスは再利用可能なレンタル品と再生品を用途に合わせて使い分け、納品・出荷時の梱包資材は社内発生した本来ならば廃棄物となる物を再利用しています。

再利用



印刷版の梱包ダンボールと合い紙は荷崩れ防止に再利用

3) 環境保全



◆地域住民の方々と住み続けられる街づくり

当社のメイン機械である印刷機は特定施設に指定されているため、工場敷地内の環境保全はもとより、工場近隣住民の皆様に住みよい環境が維持できるよう、騒音・振動、悪臭、水質汚染、土壌汚染問題を発生させないように月末パトロールでの目視と、測定による監視を実施しています。測定は法に基づくものと、義務ではありませんが自主的に実施しているものがあります。



有資格者臭気測定



有資格者臭気測定



有資格者騒音・振動測定



従業員による騒音・振動自主測定

4) 従業員の心身の健康



◆労働安全への取組み

化学物質や機械等を使用する従業員の労働安全を確保するために様々な規程や手順書を備え、有害物質に対する情報発信や始業前点検を実施しています。従業員には定期健診やストレスチェックの実施、対象従業員には特定健診を受診させるほか、要検査が必要な従業員には速やかな再診を推進しています。また、月1回発行している「総務通信」では健康管理情報を発信し、全従業員が健康でいつまでも働ける職場を目指しています。

取組み内容：

- ・化学物質リスクアセスメント
- ・作業前点検
- ・作業環境測定（有機溶剤、作業騒音）
- ・労働安全教育訓練
- ・VOC警報器活用による健康障害予防
- ・安全パトロール
- ・受動喫煙対策



印刷協会と測定器メーカーが共同開発した、VOC警報器を印刷機に取り付けています。どの洗浄剤をどの程度使用した場合に警報が鳴るのか、警報が作動した場合の避難等を徹底しています。有機溶剤取扱者は年2回の特殊健診を受診して健康障害予防をしています。



断裁機は（プレス機械又はシャーの一種）に指定されています。入替を機に、メーカーによる作業前点検・作業手順・取扱注意事項の教育訓練を実施しました。

5) 働き方改革



◆働きやすい職場づくり

これまで残業時間が多かった従業員の業務軽減のため、部署内での業務の補佐や部署の垣根を超えた業務支援を実施して残業時間の削減を実施しています。これにより、業務の平準化や従業員のスキルアップ、仕事のやり方を他目線から取り入れた業務の簡素化などに繋がっています。



◆仕事と育児の両立支援

産前産後休業・育児休業を取得しやすいよう、各部署で該当従業員が長期間休んでも、仕事に支障をきたすことがない体制をつくっています。育児休業は男性・女性どちらでも取得可能であり、現在までの取得実績は10名になります。その他子育て支援として、時差出勤や時短勤務（子供が3歳になるまで）の制度を設けています。

10. 環境対策・活動紹介

6) 社会貢献活動



◆メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）普及活動

当社は誰もが使いやすく、見やすいメディア情報を提供することで、より良い社会環境づくりを目指す「メディア・ユニバーサル・デザイン(MUD)」に取り組んでいます。ものの見え方は、年齢や色覚障がい、国や生活様式により様々です。より多くの方により正確に情報を伝えるためには、この点に配慮して発信しなければなりません。従業員が積極的にMUDの知識や技術を学び、企画やデザインに取り入れています。さらにMUDを広く知ってもらうための活動も展開しています。

メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）とは、障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考えに基づき、文字や色の使い方などに配慮・工夫することで、色弱者や弱視者はもとより、一般の人、高齢者、子供、外国人など、より多くの人が見やすく、分かりやすい情報提供を行うことです。

「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」への挑戦

「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」は、高齢者・障がいのある方・子ども・外国人などに対し、見やすさや伝わりやすさに配慮したデザインアイデアを競うもので、当社は毎年このコンペティションに挑戦しています。これまで数多くの受賞作品がありますが、2021年第15回開催の応募作品のうち、「レジカード」が一般の部で最上位賞である経済産業省大臣賞を受賞しました。



◆AEDマップ・AEDステーションへの登録

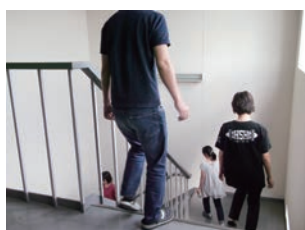
AEDの利用は従業員だけでなく、近隣で発生した万が一の事態への開放使用を想定して「全国AEDマップ」の登録に加え、「はままつAEDステーション」にも登録をしています。



11. 緊急事態対応訓練

◆避難・消火訓練

火災や地震の発生を想定し、従業員がいつでも落ち着いて行動ができるよう年1回を目安に避難訓練を実施しています。繰り返し訓練を実施していることでさまざまな問題も浮上し、その対処も実施しました。例えば、印刷現場では機械音により館内放送が聞こえないため、拡声器やハンドベルを使用するようになりました。また、当社の原材料は印刷用紙で可燃性が非常に高く、火災延焼を最小限に止めるため従業員による初期消火訓練を実施しています。



浜松市消防隊員による消火指導を5年ごとに受け、緊張感をもって訓練に臨みます。

◆災害時の備え

いつ起こるか予測できない東海大地震や近年の地球温暖化が原因とされる台風被害に備え、飲料水や簡易トイレ、懐中電灯やインキ缶落下防止対策を実施しています。



棚に並べられたインキ1kg缶の落下防止対策として、金網ネットを使用しました。フック型金具を取り付けて開閉は自由になれます。また、ロール紙の転がり防止対策として木製のストッパーを使用しています。

12. 内部・外部コミュニケーション

エコアクション21の取り組みを段階的に発展させるためには、組織内外の関係者と情報を共有し、双方向のコミュニケーションを図ることが必要です。内部コミュニケーションでは、全従業員に対してエコアクション21の取組内容など、環境経営を推進するに当たって重要な情報を伝達して理解を深めます。外部コミュニケーションでは、環境経営レポートに基づく情報公開によりエコアクション21を適切に運用していることを示し、社外との関係者との対話を促進します。また、環境に関する苦情や要望などには適切に対応します。当社は組織内外の関係者とのコミュニケーションに関する取り組みを行うことにより、関係者との相互理解や協働が一層促進することを目的に、内部・外部コミュニケーションを積極的に推進しています。

1) 内部コミュニケーション

◆方針発表会開催

毎年期首に実施している方針発表会では、全従業員に対して環境経営方針と環境経営目標、環境経営計画等について周知徹底を図っています。

◆手順書の共有

エコアクション21「管理マニュアル」と「取組手順書」は、社内共有フォルダに掲載しているため、内容は部門責任者や従業員がいつでもアクセスして確認できる状態にしています。

◆『環境活動通信』と『環境だより』発行

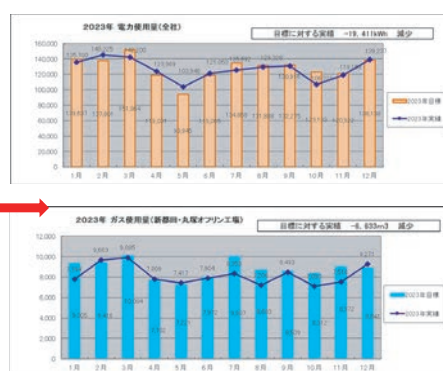
環境経営目標に対する進捗状況を毎月『環境活動通信』にまとめ、発行・掲示をしています。環境負荷物質使用量は数字だけではなくグラフ化するなど従業員の目に止まるように工夫しています。それと同時に、最近の環境に関する話題や問題に対する取り組みや関連法改正内容、ちょっとした環境情報などを『環境だより』として発行しています。



毎月の使用量
前年同月比



環境・改善 掲示板



目標に対する実績値グラフ化

2) 外部コミュニケーション

◆掲示による情報開示

「環境経営方針」「環境経営レポート」は、当社を訪問された方々にお気軽にご覧いただけるよう、常に来客フロアに掲示しています。また、ご覧いただきましたレポートの感想も受け付けるアンケート用紙も添付しています。



来客フロア

◆ホームページによる情報開示

「環境経営方針」「環境経営レポート」以外にも、環境への取り組み内容をホームページを活用して積極的に開示しています。



ホームページ

1 3、環境関連法規制等の遵守状況

当社はものづくりにおける大気、騒音、振動などの環境への排出に気を配り、周辺地域に与える環境への影響を抑えています。

2023年度の環境法令等の遵守を評価した結果、「環境関連法規等一覧表及び遵守状況確認表」に示した通り、問題がないことを確認しました。今後においても、法令遵守等のコンプライアンスの向上に努めて参ります。

※対象法規を一部省略

遵守評価：◎遵守できている ○一部遵守できていない ×遵守不十分・遵守できていない

法令・条例	条項	要求事項	該当施設・該当項目等	義務	遵守
静岡県生活環境保全条例	第3条	事業者の責務	環境マネジメントシステムを導入し、環境への負荷の低減	遵守	◎
大気汚染防止法	第17条	事業者の責務	VOC発生抑制	遵守	◎
悪臭防止法	第7条	規制基準 1・2・3号基準	対象：全ての工場、事業場 規制地域：浜松市内全域	遵守	◎
水質汚濁防止法	第5条	特定施設の届出	自動式フィルム現像液洗浄施設（現像機）	特定施設停止中につき 変更届済	◎
		有害物質使用特定施設	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		
	第12条	構造基準	定期目視点	記録	◎
	第14条	事業者の責務	排出規制措置、排出状況把握、汚濁防止措置	遵守	◎
土壌汚染対策法	第4条	土地の形質の変更届出	3,000㎡以上の土地	届出	変更なし
下水道法	第12条	特定施設の届出	自動式フィルム現像液洗浄施設（現像機）	届出	◎
		特定事業場排除制限	下水排除基準 水素イオン濃度他対象物質	遵守	◎
		水質測定と記録	pH・温度 1回/日	記録	◎
騒音規制	第52条	特定施設規制基準	基準値：第4種区域	遵守	◎
	第53条	特定施設の届出	空気圧縮機、印刷機械、冷凍機	届出	◎
振動規制	第79条	特定施設規制基準	基準値：第2種区域の2	遵守	◎
	第80条	特定施設の届出	圧縮機、印刷機械	届出	◎
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第3条	事業者の責務	廃棄物の適正処理、廃棄物の減量	遵守	◎
		委託基準	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物	遵守	◎
		保管基準	表示、飛散・浸透防止	遵守	◎
		処理基準	収集運搬・処分業者委託契約	遵守	◎
	第12条	実地確認	優良認定事業者は処理状況の確認	記録	◎
		管理責任者の届出	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物	届出	◎
		管理票交付、保管	マニフェスト発行、照合、保管	記録	◎
		管理票交付等状況報告書	行政への報告	報告	◎
フロン排出抑制法	第5条	使用するフロン類の適正管理	第一種特定製品：業務用空調機器、チラー等	遵守	◎
	第16条	管理者判断基準	機器の適切な設置、適正使用環境の維持・確保	遵守	◎
		機器の整備委託と記録保管	簡易点検 1回/3ヶ月	記録	◎
			定期点検 1回/3年 対象：7.50kW以上 50kW未満の機器	記録	◎
	第19条	算定漏えい量報告	1年度内1,000 t-CO ₂ 以上	報告	非該当
化学物質排出把握管理促進法 PRTR制度	第4条	事業者の責務	第一種及び第二種指定化学物質の使用と管理	遵守	◎
	第5条	第一種指定化学物質取扱いの把握	年間1t以上	報告	非該当

◆違反、訴訟等の有無

地域住民からの苦情や訴訟はありませんでした。

また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

より良い環境と社会を次の世代のために・・・

今、こうして活動していけることに感謝し、地域の環境を守り、次の世代に受け継いでいくことが私たちの使命であると考えます。



14. 内部監査

エコアクション21では規模が比較的大きな組織（概ね100人以上）において、年1回以上の内部監査の実施が必要となります。
当社は従業員数が100人以上であるため、下記の内容にて内部監査を実施しています。

当社の内部監査

- ・環境経営システムが本ガイドラインで規定する要求事項及び組織が定めたルールに適合しているか
- ・環境経営目標が達成されているか（あるいは達成できるか）
- ・環境経営計画が適切に実施され、環境への取組及び環境経営システムが継続的に改善されているか

これらを確認すべく、内部監査手順書に従い内部監査を実施してその結果を代表者に報告します。また、内部監査で問題が発見された場合は、是正処置及び予防処置を行い記録しています。

2023年度の内部監査の結果

是正及び予防処置となる問題点が2項目ありましたので、「問題点は正/予防処置票」にて報告をしました。

内部監査報告書 内部監査員：松森 学、曾我 晴美

被監査部門	監査実施日 / 指摘事項の有無	問題点は正確認日	環境経営システムの有効性評価
丸塚営業本部	2024年1月24日 無 ・ ⑤（観察事項）	2024年2月1日	有効
静岡営業所	2024年1月25日 ・ 有（ ）		有効
東京営業所	2024年1月25日 ・ 有（ ）		有効
新都田工場	2024年1月25日 ・ 有（ ）		有効

有機溶剤保管場所



問題点



是正処置

問題点は正処置内容：

- ①丸塚営業本部 電力使用削減取組内容 デマンド目標値420kW 実績値433kW 未達成
是正処置 コロナ明けで業務が回復傾向にあるが、設定目標値が低すぎたため次年度目標値を高く設定する。
環境管理責任者及びEA21事務局が、環境委員会で次年度目標値決定時に考慮します。
- ②丸塚営業本部オフライン工場 有機溶剤保管状況の改善 盗難防止及び地震落下対策の実施
是正処置 有機溶剤保管場所を改善しました。

15. 代表者による全体評価と見直し・指示

電気設備等の改修はデジタル印刷機の更新と、新都田工場オフセット課のガスエアコン高効率化を実施することができました。
予算内でできることは、次年度も省エネ機器に更新していきたいと考えています。従業員の「省エネ宣言」など、環境負荷物質使用量の削減への取り組みは大変評価できるものですので、引き続き実施していきましょう。取組部門によっては実施が不十分であることがみられました。業務優先ではありますが、削減の費用対効果を意識して行動に移すことを望みます。円安の影響を受けて原材料費高騰による仕入経費への影響が続きますので、環境負荷物質使用量を減らすよう従業員全員で取り組みを続けていきましょう。

2024年2月2日 代表取締役 大高 明

取組事項	変更・指示	変更・指示内容 / アドバイス
環境経営方針	■変更なし □変更あり	—
環境経営目標	■変更なし □変更あり	—
環境管理体制	■変更なし □変更あり	—
教育・訓練の実施	■変更なし □変更あり	教育・訓練を積極的に実施してください
緊急事態への準備	■変更なし □変更あり	—
環境関連法規等	■変更なし □変更あり	—
地域活動・社会貢献	■変更なし □変更あり	—
その他		

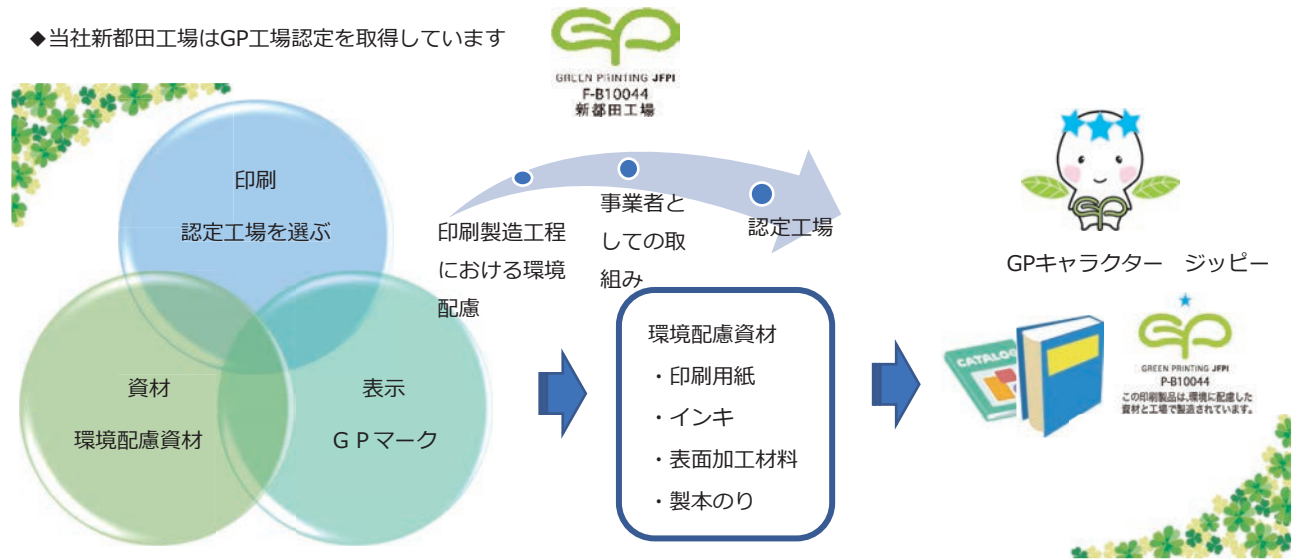
環境に配慮された印刷製品の証、GPマーク（グリーンプリンティングマーク）

GPマーク（グリーンプリンティングマーク）とは、印刷業界の環境自主基準に基づき、事業者（工場等）の環境負荷低減への取組および環境に配慮した印刷製品を認定するという総合認定制度により、製品に表示できる『環境ラベル』です。一般社団法人日本印刷産業連合会が1985年に設立し、印刷業界の環境負荷の低減および市場へ提供する印刷製品の環境負荷低減を推進しています。

この制度の目的は、印刷資材、製造工程、印刷会社の取り組みの全ての観点から、環境への配慮を総合的に進める点にあることと、GPマーク（環境ラベル）を表示することで、環境問題に取り組む印刷会社が社会的な信頼を得られるようにするものです。

◆グリーンプリンティングの3つの制度

制度	内容
GP工場認定制度	印刷物の製造工程において、環境に配慮している印刷工場を認定する制度
GP資機材認定制度	環境に配慮している資機材（洗浄剤、エッチ液、印刷版、現像機、セッター、製版薬品、デジタル印刷機など）を認定する制度
GP製品認定制度	印刷物の製造工程や使用する資材が、総合的に環境に配慮している印刷物を認定する制度



◆グリーンプリンティングは、SDGsのゴールの一つである「目標12：持続可能な生産消費形態を確保する」の実現に貢献できます

グリーンプリンティング認定工場・GPマークとSDGs



「持続可能な社会」。それは、地球環境を壊さず、資源も使いすぎず、未来の世代も美しい地球で平和に豊かに、ずっと生活をし続けていける社会です。そんな社会を目指し、環境に配慮した印刷製品を作りませんか。



私たちはSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献していきます



丸塚営業本部 〒435-0046 静岡県浜松市中央区丸塚町196-1
TEL 053-467-6000 FAX 053-467-6006

新都田工場 〒431-2103 静岡県浜松市浜名区新都田一丁目10番2号
TEL 053-484-1171 FAX 053-484-1170

静岡営業所 〒420-0913 静岡県静岡市葵区瀬名川三丁目1番33号
TEL 054-267-3001 FAX 054-267-3003

東京営業所 〒153-0062 東京都渋谷区元代々木町33-8 元代々木サンサンビル2階
TEL 03-6412-7661 FAX 03-6412-7662

E-mail : soumu@sugi-p.co.jp (代表/丸塚営業本部 総務部)
URL : <https://www.sugiyama-ms.co.jp/>



責任ある森林管理
のマーク



この印刷物の資材は全てリサイクル対応型資材を使い、
環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場で印刷しています